

(株)三越伊勢丹ホールディングス(国内百貨店事業)売上確報(2019年 12月)



2020年1月15日

国内百貨店事業 売上

店名	前年比	2019年度計
伊勢丹新宿本店 ※	97.7%	98.6%
三越日本橋本店 ※	91.4%	95.3%
三越銀座店	94.3%	97.9%
伊勢丹立川店	98.7%	99.1%
伊勢丹浦和店	93.3%	97.2%

※伊勢丹新宿本店 店頭売上前年比:96.5% 三越日本橋本店 店頭売上前年比:92.1%

※伊勢丹新宿本店売上には、法人外商事、EC事業及び一部の小型店舗の売上を含みます。

※三越日本橋本店売上には、小型店舗及び恵比寿三越の売上を含みます。

会社名	前年比	2019年度計
札幌丸井三越	97.4%	99.2%
函館丸井今井	104.9%	107.1%
仙台三越	92.0%	95.1%
新潟三越伊勢丹	95.6%	96.5%
静岡伊勢丹	92.1%	95.2%
名古屋三越	92.8%	98.1%
広島三越	93.8%	99.7%
高松三越	91.4%	97.1%
松山三越	86.5%	93.0%
岩田屋三越	91.5%	95.0%

三越伊勢丹 計	90.5%	96.8%
三越伊勢丹既存店 計 ※	95.3%	97.6%

※9月末日に営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績を除く

国内グループ百貨店 計	93.3%	96.8%
-------------	-------	-------

国内百貨店 計	92.0%	97.0%
国内百貨店既存店 計	94.7%	97.4%

百貨店事業 商品別売上

単位: % (営業日数は日)

	伊勢丹新宿本店		三越日本橋本店		三越銀座店		基幹3店計		三越伊勢丹計		国内百貨店計	
	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計	12月	年度計
紳士服・洋品	98.2	99.3	90.9	87.8	93.6	95.7	96.7	97.2	93.3	97.2	92.2	95.7
婦人服・洋品	90.1	94.3	85.4	83.1	98.9	97.9	90.4	92.3	85.9	92.1	88.4	93.0
子供服・洋品	98.6	96.2	84.3	97.8	103.7	104.5	96.4	98.1	88.5	97.2	88.5	95.0
呉服寝具他	95.5	82.5	72.5	91.1	90.8	97.0	90.2	85.9	83.1	90.7	83.7	91.4
衣料品計	93.9	95.7	86.2	86.0	97.6	97.9	92.9	94.0	88.4	94.0	89.3	93.8
身廻り品	87.5	90.8	99.2	108.7	92.2	97.3	90.8	95.7	88.1	96.9	90.8	98.3
雑 貨	103.2	104.7	79.5	101.2	89.5	97.5	93.9	102.0	90.9	101.2	91.0	101.3
家具インテリア	93.7	95.4	91.8	96.2	54.8	71.8	91.3	94.5	85.6	95.8	80.4	92.0
家 電	73.5	82.1	29.1	44.9	-	-	65.6	75.4	64.3	74.4	68.3	76.4
家庭用品	101.7	92.0	86.1	90.7	88.7	94.2	91.7	91.7	83.9	93.0	85.3	92.6
家庭用品計	94.7	91.7	84.9	90.0	84.5	91.3	89.6	91.0	83.0	92.3	83.3	91.6
食 料 品	108.0	107.6	98.2	97.7	101.9	102.6	102.6	102.4	95.4	99.0	95.8	98.0
食堂・喫茶	94.9	92.9	88.3	95.7	7.1	6.7	89.0	88.3	76.7	89.5	81.2	91.2
サービス	93.0	88.5	96.8	95.9	71.6	95.0	92.2	91.0	84.2	89.4	85.7	89.4
その他	107.9	107.2	93.5	88.7	97.9	93.3	96.5	93.2	94.8	92.7	95.3	93.9
合 計	97.7	98.6	91.4	95.3	94.3	97.9	95.3	97.5	90.5	96.8	91.6	96.8
営業日数	31	274	31	274	31	274	-	-	-	-	-	-

12月概況

- 回復基調にはあるものの、引き続き消費増税前の駆け込み需要の反動減の影響が残っていることや土曜祝日の2日減、クリスマスの曜日並びのマイナス与件も重なり、首都圏三越伊勢丹(既存店)と国内百貨店(既存店)共に前年実績を下回る。
- インバウンド売上は化粧品カテゴリーが引き続き低調ながらも、ラグジュアリーブランド・宝飾・時計の動きが堅調だったこともあり、全体としては先月よりもマイナス幅は縮小した。

1月足元概況

- 14日までの店頭売上累計は消費税増税に伴う反動減が依然として見られ、三越伊勢丹(既存店計)92.8%、国内百貨店(既存店計)91.4%と共に前年実績を下回った。
- 免税売上は化粧品への関心低下は引き続き見られるものの、ラグジュアリーブランドのバッグなど高額品が好調だったことで首都圏、国内百貨店共に前年実績を上回る。